

三重県の地震活動（令和7年4月）

令和7年5月16日

津地方気象台

【概況】

今期間、三重県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回ありました。

- ① 愛知県西部（8日19時26分、深さ36km、M4.6）を震源とする地震により、三重県で震度2を観測しました。
- ② 長野県北部（18日20時19分、深さ13km、M5.1）を震源とする地震により、三重県で震度1を観測しました。

※ 県内の詳しい震度は、2ページ以降に記載しています。

※ 最終ページに今月のトピックスを掲載しています。

地震の震央分布図と断面図（深さ0～500km、M0.5以上）

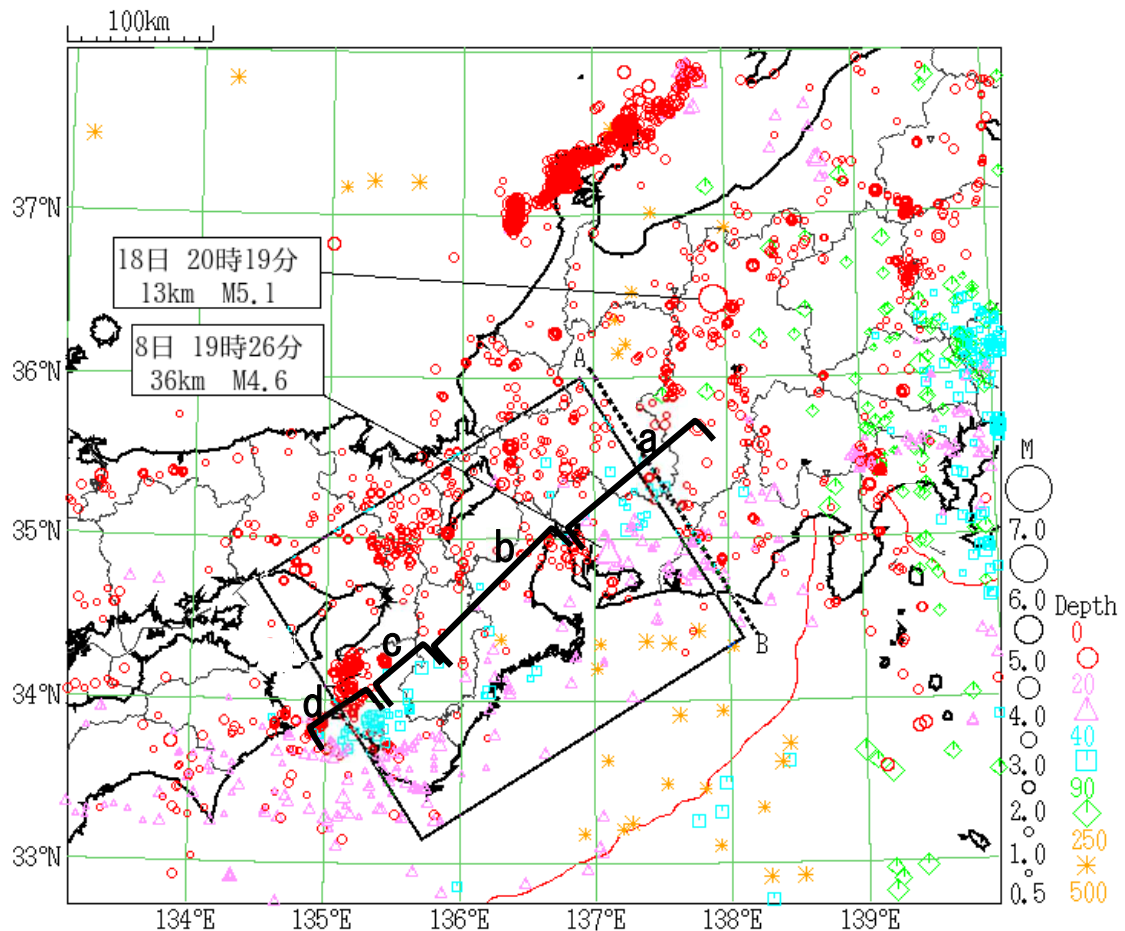


図1. 4月の主な地震活動

図中のa、b、c、dの黒枠で示す領域で、深部低周波地震を観測しました。

（詳しくは、後述の【深部低周波地震の観測状況】を参照下さい。）

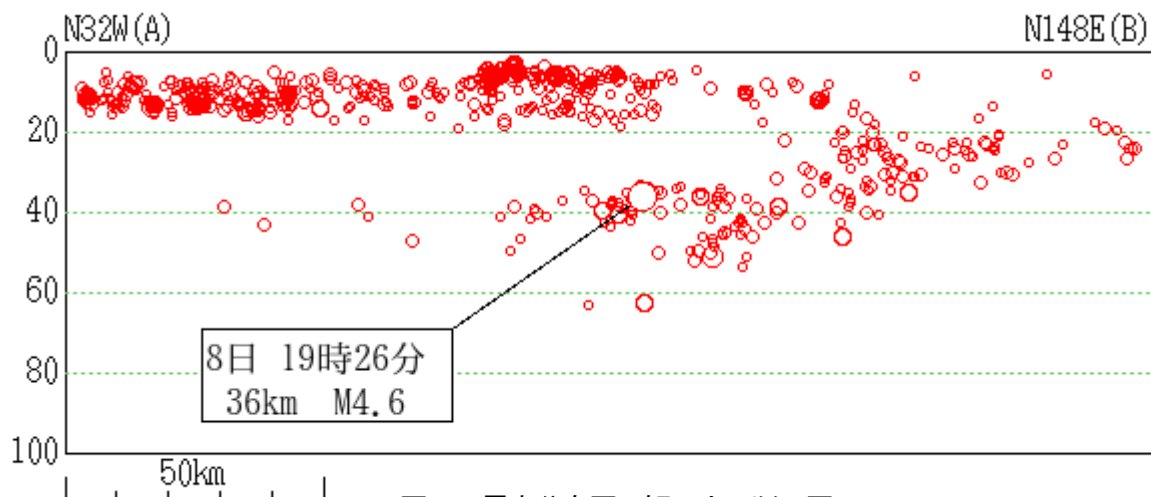


図2. 震央分布図の矩形内の断面図

図中の測線 (A-B) を鉛直スクリーンに投影してプロットしたもの

※② (長野県北部) の地震は短形内に含まれないため表示していません。

【県内で震度1以上を観測した地震】

- ① 愛知県西部 (8日19時26分、深さ36km、M4.6) を震源とする地震により、三重県内では四日市市、桑名市、鈴鹿市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、いなべ市、亀山市、津市、松阪市、多気町、伊勢市及び玉城町で震度2を、名張市、明和町、伊賀市、尾鷲市、熊野市、大紀町、南伊勢町、紀北町、鳥羽市、志摩市、大台町及び度会町で震度1を観測しました。
- ② 長野県北部 (18日20時19分、深さ13km、M5.1) を震源とする地震により、三重県内では桑名市、木曽岬町及び朝日町で震度1を観測しました。

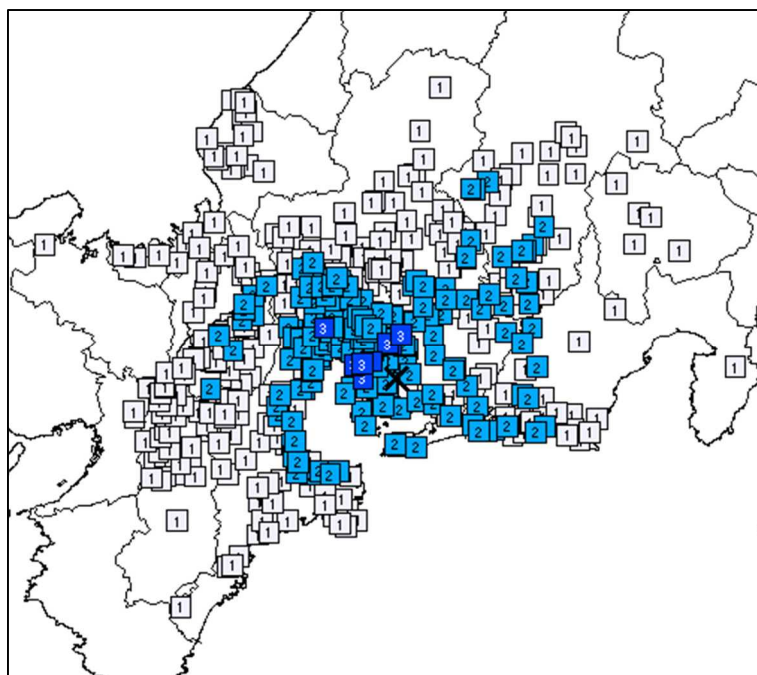


図3. ①の地震の観測点別震度分布図

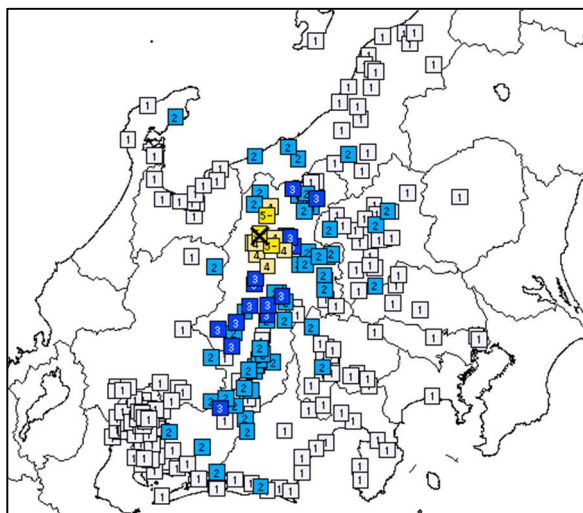


図4. ②の地震の市町村別震度分布図

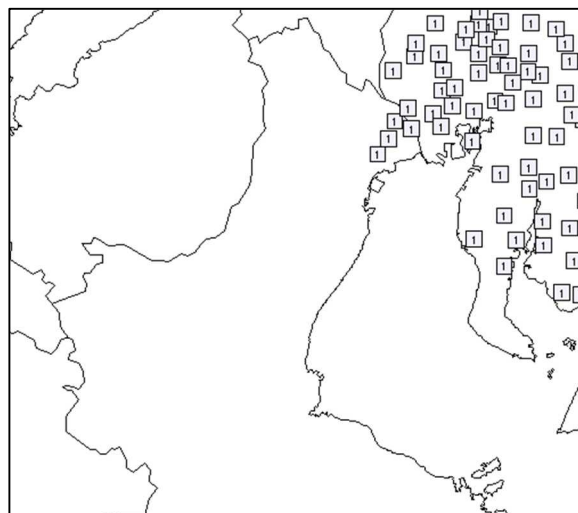


図5. ②の地震の観測点別震度分布図
(三重県北中部付近拡大)

【県内地震表（震度1以上）】（*印のついている地点は地方公共団体または防災科学技術研究所の観測点）

番号	震源 日時分	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	最大震度(全国)	〔三重県〕
		各地の震度（観測点）						
①	8日19時26分	愛知県西部 三重県	34° 55.9' N	137° 06.2' E	36km	M4.6	(3)	[2]
		震度2：四日市市新浜町* 四日市市諏訪町* 四日市市楠町北五味塚* 桑名市多度町多度* 桑名市長島町松ヶ島* 桑名市中央町* 鈴鹿市西条 鈴鹿市神戸* 木曽岬町西対海地* 東員町山田* 菰野町潤田* 三重朝日町小向* 川越町豊田一色* いなべ市員弁町笠田新田* いなべ市大安町丹生川久下* いなべ市藤原町市場* いなべ市北勢町阿下喜* 亀山市本丸町* 津市島崎町 津市芸濃町棕本* 津市香良洲町* 津市安濃町東観音寺* 松阪市上川町 松阪市魚町* 松阪市曾原町* 松阪市殿町* 多気町相可* 伊勢市楠部町* 伊勢市二見町茶屋* 伊勢市小俣町元町* 伊勢市御園町長屋* 玉城町田丸* 震度1：四日市市日永 亀山市椿世町* 亀山市関町木崎* 津市片田薬王寺町 津市西丸之内* 津市河芸町浜田* 津市美里町三郷* 津市白山町川口* 津市一志町田尻* 津市美杉町八知* 津市久居明神町* 松阪市飯高町宮前* 松阪市飯南町粥見* 松阪市嬉野町* 名張市鴻之台* 多気町松柄* 三重明和町馬之上* 伊賀市緑ヶ丘本町 伊賀市下柘植* 伊賀市島ヶ原* 伊賀市四十九町* 伊賀市平田* 伊賀市馬場* 伊賀市阿保* 尾鷲市南陽町 尾鷲市南浦* 熊野市紀和町板屋* 三重大紀町滝原* 三重大紀町錦* 三重大紀町大内山* 南伊勢町五ヶ所浦* 南伊勢町神前浦* 三重大紀北町相賀* 三重大紀北町東長島* 伊勢市矢持町 伊勢市岩淵* 鳥羽市鳥羽* 志摩市志摩町越賀 志摩市志摩町布施田* 志摩市大王町波切* 志摩市磯部町迫間*						

		志摩市阿児町鵜方＊ 志摩市浜島町浜島＊ 大台町佐原＊ 大台町江馬＊ 度会町棚橋＊
②	18 日 20 時 19 分	長野県北部 36° 28.1' N 137° 54.8' E 13km M5.1 (5 弱) [1] 三重県 震度 1 : 桑名市長島町松ヶ島＊ 桑名市中央町＊ 木曽岬町西対海地＊ 三重朝日町小向＊

【過去 1 年間に三重県内で震度 1 以上を観測した地震の月別回数表】

2024 年								2025 年			
5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月
3	6	0	1	1	3	2	1	4	2	4	2

【深部低周波地震の観測状況】

領域b（紀伊半島北部）では3日、6日、13日、17日、19日～20日、及び29日～（継続中）に、領域c（紀伊半島中部）では11日～12日、17日、及び27日から5月1日に、領域d（紀伊半島西部）では2～6日、10～11日、17日、22日、及び27日～5月3日、及び5月6日～（継続中）に、領域a（東海）では9～11日、及び16日～17日、及び5月7日～（継続中）に深部低周波地震を観測しました。

※深部低周波地震はその地震波形の特徴から震源を精度良く求めることが難しく、震源が震央分布には表示されないことがあるため、実際はもっと数多く発生していると考えられます。

※図6～図8では、震源の精度がやや劣る地震についても表示しています。

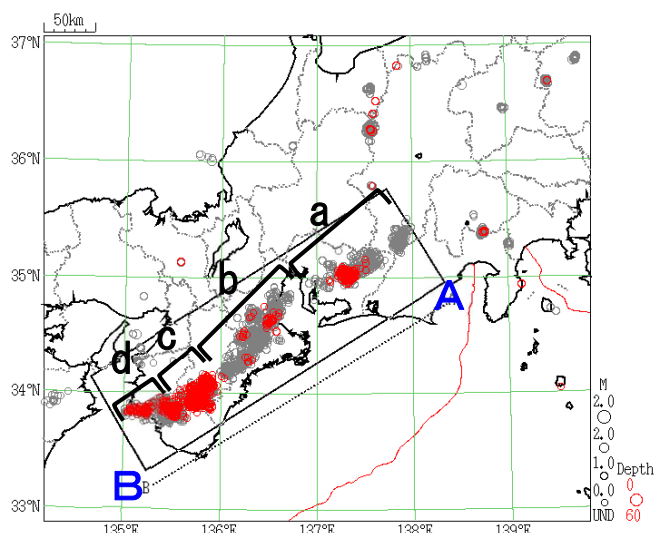


図6. 過去1年間の深部低周波地震の震央分布図
(2024年5月1日～2025年4月30日)
2025年4月に発生した地震を赤色で表示しています

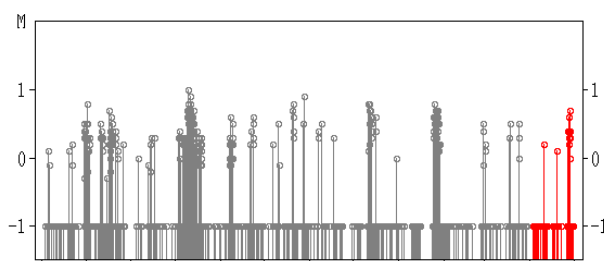


図7. 図6の矩形内のM-T図(地震活動経過図)
2025年4月に発生した地震を赤色で表示しています。
Mが-1以下やMが不明な地震は全て-1としています。

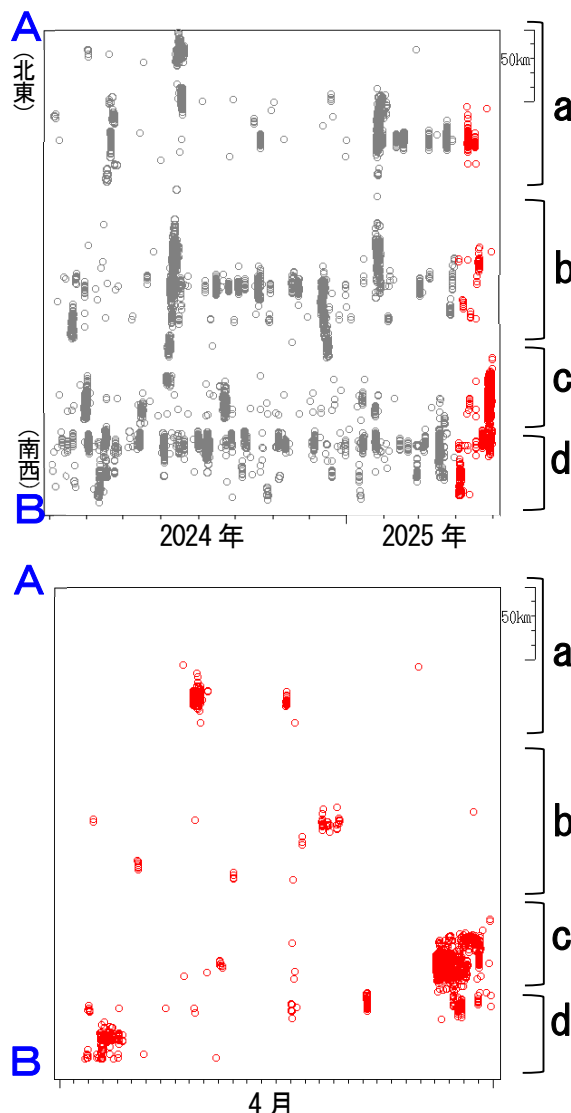


図8(上) 過去1年間に発生した深部低周波地震の時空間分布図
縦軸：図6中のA-Bを投影（概ね北東-南西方向）
横軸：期間（2024年5月1日～2025年4月30日）

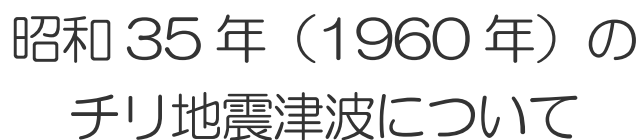
図8(下) 今期間部分(2025年4月1日～4月30日)

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

・資料についての問い合わせ先 津地方気象台 電話：059-228-6818

・この地震活動図は津地方気象台ホームページ「三重県の気象・地震活動・気象速報など」に過去3ヶ月分掲載されています。

アドレス：<https://www.data.jma.go.jp/tsu/overview/overview.html>



※ 地震の発生による地下の岩盤のずれの規模（ずれ動いた部分の面積×ずれた量×岩石の硬さ）を基にして計算したモーメントマグニチュードを指します。



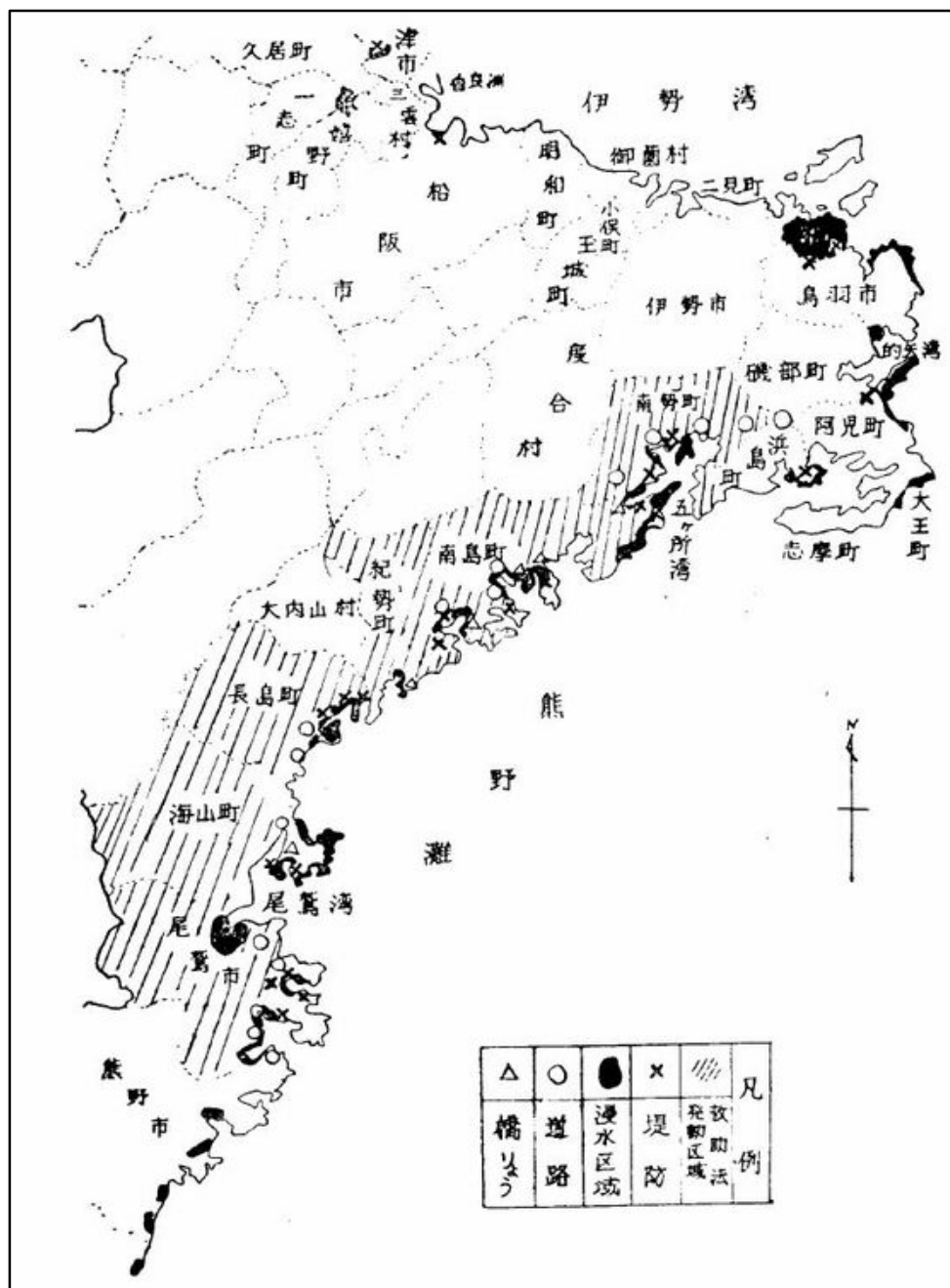


図3. 三重県南部の津波被害状況図（気象庁, 1961）

国外で発生した規模の大きい地震や噴火では、国内で揺れを観測しない場合が多く、かつ津波が到達するまでに時間的猶予があるものの、決して油断せず、津波警報等が発表されたら避難施設等の安全な場所に避難し、警報等が解除されるまで避難行動をとり続けてください。

慌てず防災行動を実施するには、日頃から地震による強い揺れ及び津波への備えが大切です。このような備えをすることで命を守ることにつながるほか、避難生活の備えにもなります。

<参考文献>

気象庁：昭和35年5月24日チリ地震津波調査報告，気象庁技術報告，第8号，1961.

渡邊偉夫：日本被害津波総覧第2版，1998.